

【課題番号】 4-1802

【研究課題名】 環境変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した 国土の適応的保全計画

【研究期間】 平成 30 年度～平成 32 年度

【研究代表者（所属機関）】 久保田康裕（琉球大学）

研究の全体概要

本研究では、日本における主要な生物分類群（維管束植物・哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・淡水魚類・沿岸海水魚類・昆虫）の分布情報および進化生態学的な基礎情報（系統・機能特性）を地図化し、気候変動や土地水域利用に関係した環境変動に対する生物多様性パターンへの応答を定量する。そして、生物多様性情報と社会経済活動（人口や経済指標）に関する時空間情報を、システム化保全計画法の枠組みで統合的に分析し、原生的自然生態系の保全、里山・人工林・沿岸里海生態系の管理、野生生物管理、希少種保全、外来種管理など、日本の環境行政上の主要ニーズを体系化した様々なシナリオ分析に基づいて、生物多様性保全に関する政策オプションを提案する。これにより、気候変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した、適応的保全計画を推進する。

具体的な課題は以下の6つで、それぞれについて生物多様性・生態系の保全管理シナリオを分析し、科学的な実効性と行政的実行可能性を両立した政策オプションを提案する。

- 1) 環境変動に応答した生物多様性パターンの空間動態を考慮した適応的な保護区ネットワーク分析
- 2) 原生的自然環境エリアの保全計画と生態系サービス利用の最適化分析
- 3) 里山と人工林の生物多様性保全効果を最大化する空間的な保全管理優先地域の順位付け分析
- 4) シカ個体群の空間的な管理重点地域の順位付け分析
- 5) 希少種メタ個体群構造の定量とマクロスケールの保全計画
- 6) 在来の生物多様性保全を促進する外来種駆除の空間的な重点地域の特定分析

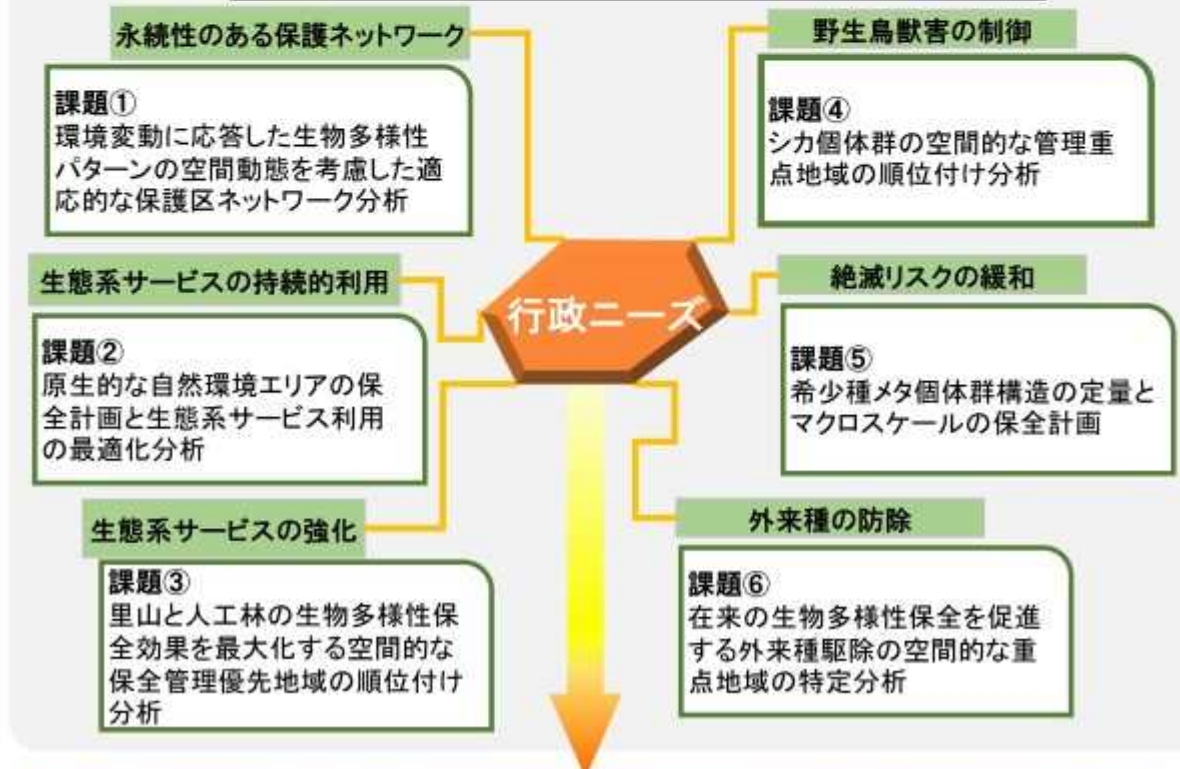
環境変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した国土の適応的保全計画

研究代表機関: 琉球大学

目的: 気候変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した適応的保全計画を推進する



- ・環境変動に対する生物多様性パターンの応答予測
- ・環境行政上の主要ニーズを体系化したシナリオ分析



科学的な実効性と行政的な実行可能性を両立した政策オプションの提案